

# 生活単元学習指導案

指導者 加川 香

1 日時 令和5年10月20日(金) 第5校時

2 学年 にこにこ2組 4名

3 単元名 にこにこ大きくせん!～みんなをえがおにしよう～

## 4 単元目標

### 探究のサイクル1

○周りの人が笑顔になるときはどんなときか考えよう。

### 探究のサイクル2

○周りの人を笑顔にするために自分たちができることを考えよう。

### 探究のサイクル3

○自分たちにできることをして周りの人を笑顔にしよう!

## 5 単元について

### (1) 教材について

本単元は、「児童が、自発的に他者のためになることを行うことが喜びとなる」ことを最終的なゴールにして、周囲の人が笑顔になるときは自分たちがどんな行動をしたときか、振り返ったり試したりする活動を繰り返す中で、他者と共に生きていく上で、大切な心情と知識や技術を身に付けることができる単元である。また、この学習を通して児童自身が、周囲の人のためになることを行いたいという思いを持ち、自ら具体的な事柄に気付き、継続的に様々なことに取り組むことを目的としている。家庭環境も発達段階も違う異年齢児童がお互いの体験を共有し合うことで、自分が気付かなかったことに気付ける良さがあり、活動の幅が広がるのが期待できる。友達に刺激されて、主体的に学習することで一層学びを深めることができると考える。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、1年生男子1名、2年生男子1名、3年生男子1名、女子1名の合計4名。昨年度は「かんしゃのきもちをつたえよう」の単元で、両親や祖父母、お世話になっている先生方、ボランティアで学校に来てくださる方に手紙を書く機会を設けてきた。教師と会話をしながら、内容を決め、教師の下書きを見ながら一生懸命書き、渡したとき、喜んでもらった体験をしている。少しずつ自分で内容を考え、主体的に手紙を書くことが課題である。また、自分たちで作ったものをプレゼントしたり食して頂いたりした体験や、学校の清掃活動をするなどして、ありがとうと言われ嬉しい気持ちになった体験をしている。朝の会終了後には、職員室や事務室に行き、挨拶をすることを日課とし、男子3名は、毎朝の挨拶体験を通して、気持ちの良い挨拶をすると、先生方が褒めてくれたり喜んでくれたりすることに喜びを感じている。女子1名は、挨拶を繰り返されると復唱することができるようになっている。

### (3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	過去の体験を思い出すことができるように写真を見せたり、各々が体験したことを思い出し共有したりするなどして、やってみたい、喜んでもらいたい、といった気持ち呼び起こし主体的な学びを促す。
コミュニケーション力	友だちと一緒に活動したり、友達が家でやって家族に喜んでもらったことを共有したりする活動を通して、新たにやりたいことを見付けたり友達と一緒に活動を継続したりするなど学びを深められるようにする。
メタ認知	毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。そこで自分や他者が嬉しい気持ちになることに気付いたこと、分かったことなどを伝え合い、教師が整理する。

## 6 評価規準及びルーブリック

### (1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 人が嬉しくなったり喜んだりするのはどんな時かに気づき、人を笑顔にする術が分かる。</p> <p>イ 周りの人が喜ぶことで、自分ができることややりたいことに気づき、そのための技能を身に付けている。</p> <p>ウ 周りの人を笑顔にする活動に取り組むよさや自分の成長が分かる。</p>	<p>ア 自分たちの体験から設定した課題について、周りの人の思いを踏まえて課題を設定し、見通しを持って計画している。</p> <p>イ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、自分に必要な情報を選んだりしている。</p> <p>ウ 収集した情報を整理し、次に何をしたらよいかを考えている。</p> <p>エ 目的、意図に応じ、教師に言葉かけに応じながらまとめ、表現している。</p>	<p>ア 活動を通して、自分自身を振り返り、自分の活動について考えている。また、周囲の人の考えを受け入れ、活動に取り組んでいる。</p> <p>イ 自分から進んで活動に取り組んでいる。また、友達と協働して学び合っている。</p> <p>ウ 周りの人を笑顔にする活動に喜んで継続して取り組んでいる。</p>

### (2) 探究のサイクル2におけるルーブリック

資質・能力			B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	ウ	<p>周りの人を笑顔にする活動に取り組むよさや自分の成長が分かる。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>周りの人が楽しそうにしていることが分かる。(3年生女子)</p>	<p>周りの人を笑顔にする活動に取り組むよさや自分の成長が分かり、自分の言葉で表現することができる。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>周りの人が楽しそうにしていることが分かり、めあてに即した活動を行うことができる。(3年生女子)</p>
思考・判断・表現	コミュニケーション力	ウ	<p>収集した情報を整理し、次に何をしたらよいかを考えている。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>友達が行うことを、友達と一緒に、真似て行うことができる。(3年生女子)</p>	<p>収集した情報を整理し、次に何をしたらよいかを考えて進んで発することができる。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>友達が行うめあてに即した活動を、真似て行うことができる。(3年生女子)</p>
主体的に学習に取り組む態度	主体性	イ	<p>自分から進んで活動に取り組んでいる。また、友達と協働して学び合っている。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>周りの人が行うことを自ら真似て行うことができる。(3年生女子)</p>	<p>課題意識をもって自分から進んで活動に取り組んでいる。また、友達と協働して学び合っている。(1, 2, 3年生男子)</p> <p>活動の内容を理解して活動を行うことができる。(3年生女子)</p>

## 7 指導と評価の計画 (全 20 時間)

\*別紙1:「単元構想図」参照

8 本時の展開

本時の目標 前時の学習から今日までに集めた“あいすのみ”（「ありがとう」、「いいね」「すてき」「すごい」などの言葉）を宝箱に整理して入れる活動を通して、周りの人を笑顔にする活動に取り組む良さや自分の成長に気付かせる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 事前に集めた「あいすのみ」はどのようなことをして集めたのかを振り返る。	○児童と周囲の人の笑顔の写真や、前時までの学習で児童の考えを記録した提示物を見て、どのような経緯で「あいすのみ」集めをしたかを視覚的に振り返る。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>めあて</b> あつめた「あいすのみ」を、2つのたからばこにしゅるいべつにいれよう！         </div>		
2 「あいすのみ」を袋から順番に取り出し、当事者がどんな場面で集めた言葉かを紹介する。 2つの宝箱のどちらに入るかを考えて「あいすのみ」を入れる。 その時の気持ちを想起する。	○2つの観点を示し、どちらに入るか考えさせる。迷った場合は、最初に笑顔になるのは誰かを考えさせる。 ○「あいす」の言葉にとらわれず、2つの観点のどちらに入るかを考えて貼らせ、その時の気持ちを言葉にさせる。 ○自分で読めない児童には、先生が代読する。	○2つの観点 1 自分が何かをできるようになるためにやったこと 2 誰かの力になるためにやったこと
3 平均台を使った遊びをする。	○活動が単調にならないように、児童同士がかかわりあいながら体を動かす中で、「あいすのみ」を見つける活動を間に入れる。 ○教師が言葉を率先して「あいす」の言葉をかけ、児童相互で「あいす」の言葉を積極的にかけるよう声掛けをする。	
4 本時の学習をまとめる。	○人のためにした時だけでなく、自分が頑張った時も皆が喜んでくれていることや、自分がたくさんの人を笑顔にしたことに気付けるように声を掛ける。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>まとめ</b> じぶんががんばったら、じぶんもひともえがおになる。ひとのためになにかをしたら、ひとがえがおになってじぶんもえがおになる。こんなにたくさんみんなをえがおにしたじぶんたちはすごい。         </div>		
5 感想を伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 5px;">           ホップ→学習して分かったこと。            ジャンプ→これからできるようになりたいこと         </div>	○次の活動の見通しをもたせるために、今日の学習の振り返りをさせて、気付いたことを発表させる。または、教師が気付いたことを投げかける。 ○発表が難しい児童には、選択肢を出して反応を聞く。	【①-U】 (授業態度 発言分析)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>振り返り</b> じぶんが、がんばったら、お母さんや先生がえがおになるとわかりました。じぶんたちは、たくさんみんなをえがおにしているとわかってうれしかったです。これからも、みんなをえがおにしたいです。これからも、たくさん「あいすのみ」や「がんばったね」などのことばをあつめたいです。         </div>		

## 9 板書計画

**めあて** あつめた「あいすのみ」を、2つのたからばこにしゅるいべつにいれよう！

じぶんのため



ひとのため



**まとめ**

じぶんががんばったら、じぶんもひとえがおになる。ひとのためになにかをしたら、ひとがえがおになってじぶんもえがおになる。こんなにたくさんみんなをえがおにしたじぶんたちはすごい。

**ふりかえり**

- ・ありがとうやすてき！のカードをたからばこにたくさんはることができてうれしい。
- ・みんなをたくさんえがおにしたとわかった。
- ・じぶんのためにがんばったら、〇〇がえがおになるとわかった。
- ・みぎのたからばこには、ありがとうのカードがおおい。
- ・また、〇〇をして、〇〇をえがおにしたい。
- ・これからも、〇〇をえがおにして、たくさん「あいすのみ」をあつめたい。